

毎日新聞

暗算検定十段 最年少合格

当時6歳11カ月 知立西小の大辻さん

全国珠算教育連盟(本部・京都市)が9月に実施した暗算検定試験で、知立市立知立西小1年の大辻悠仁さん(7)が同市鳥居2丁目が、最高位の十段に合格した。当時6歳11カ月で、それまでの全国最年少記録の7歳0カ月を1カ月更新した。

【安間教雄】
全国最年少の新記録で暗算十段に合格した大辻悠仁さん。知立市で



十段の試験は、3〜5桁の数字を加減する「見取り算」、2〜5桁の「かけ算」、2〜7桁の「割り算」の3種目で行う。各種目とも40問を3分以内で解き、2000点満点で190点以上を取らなければ合格しない。年齢に関係なく同じ条件で、大人を含めた合格率は1%以下という。

悠仁さんがそろばんを始めたのは、幼稚園児だった5歳0カ月の2014年10月。知り合いの園児がそろばん塾へ通っていることを聞き、近くの塾へ入った。数字が書けるようになったところで、まだそろばんも見ることがなかった。

しかし、そろばんの「パチパチ」という音が面白く、遊び感覚でのめり込んだ。週5日の通塾でめきめきと上達し、特に暗算が他の子どもより倍以上も速かった。以来、暗算の検定試験を主に受け、今年3月の準四段合格を皮切りに、5月に八段、7月には九段、そして9月に十段へと駆け上った。

悠仁さんはサッカーやアニメが大好きで、学校では算数より体育が得意という。「一番上が取れて、とてもうれしい。もっとレベルを上げ、大人も参加する競技会で優勝を目指す。将来はそろばん塾の先生になりたい」と目を細めた。